

# 平成25年度 当初予算重点分野のアウトライン ～住みよい七尾市をめざして～

七尾市は行財政改革を推進し、効率的な財政運営の健全化に取り組むとともに、地域づくりや人材育成を中心に協働のまちづくりを進めてきました。今後、さらに七尾市を元気にし、将来像である「人が輝く交流体感都市」を目指して、6つの柱を掲げました。

## I 訪れたいくなるまちづくり

北陸新幹線の金沢開業、能越自動車道の供用開始など、近くなる七尾を見据えて、これまで以上にまちづくりに取り組むとともに、的確な情報を発信し、移住・交流人口の拡大を図ります。



## II 安心・安全市民の暮らし

緊急防災システム、学校などの耐震化整備など、災害に強いまちづくりを進めるとともに、安心して子育てをし、高齢者が豊かに暮らすことができます。



## III 活力溢れる地域産業づくり

地域産業の強みや特徴を引き出すため、「産業振興プラン」を策定するとともに、能登の里山・里海を活かした足腰の強い産業づくりに取り組みます。



## IV 未来を担う人づくり

基礎学力の定着を進めるとともに、人を思いやる心とふるさと七尾に誇りと愛着を持ち、国際感覚あふれる子どもたちを育成します。



## V 産業・交流・市民生活を支える、社会基盤の整備

能越自動車道、藤橋バイパスなど基幹道路の整備や、七尾港、圃場、漁港の早期完成を促進するほか、社会生活インフラの整備を図ります。



## VI 協働のまちづくりの推進

これまで以上に効率的な行財政改革に取り組むとともに、市民が主役のまちづくりを推進し、豊かな七尾市の実現を目指します。



# I | 訪れたいくなるまちづくり

## ① 移住・交流の推進

- (新) 七尾市移住・交流推進協議会(仮称)の設立 200万円  
専門誌への広告掲載、パンフレット作成、体験ツアーの開催、専門機関との連携など
- (新) 移住ポータルサイトの構築 400万円  
生活環境、空き家情報、支援制度、風土、祭りなど
- (新) 空き家活用事業 150万円  
町会などを通じた利用可能な空き家の発掘
- (新) 七尾暮らし支援事業 280万円  
住宅家賃補助、購入費、改修費用への支援
- (拡) 定住促進住宅取得奨励金 4,800万円  
一戸建て住宅を新築または購入する者に対する助成
- (新) 賃貸住宅家賃助成金 120万円  
市内の民間賃貸住宅に居住している低所得者に対する家賃補助



七尾暮らし支援事業

## ② 北陸新幹線開業対策の推進

### ■観光案内所の設置

- (新) 七尾駅・和倉温泉駅観光案内所の設置 840万2千円  
観光案内人の配置(3人)

### ■二次・三次交通の確保

- (新) 案内看板の設置 150万円  
七尾駅前、和倉温泉駅案内看板の設置
- (新) まりん号運行体制の充実 620万円  
観光客、市民に対応したルートの検討、まりん号バス停表示板の作成  
西回り「等伯・利家ルート」(仮称)  
東回り「七尾城・能登島山ルート」(仮称)  
観光情報音声案内の実施

### ■七尾の魅力発信

- (新) 旧中央図書館周辺整備構想の策定 600万円  
一本杉通り～小丸山公園を結ぶ散策路など
- (新) 旅行エージェントの招へい 160万円
- (新) 移住・交流の推進【再掲】 1,030万円
- (継) 能登の里山里海魅力発信 462万円  
七尾万葉集の増刷、小冊子の増刷
- (継) 能登演劇堂「ロミオとジュリエット」 1,990万円  
ロングラン公演(9月28日～10月27日)

### ■マイス(MICE)などによる交流人口の拡大

- (継) 合宿等の誘致 1,829万6千円
- (継) 能登和倉万葉の里マラソン 500万円
- (新) 世界農業遺産国際会議 700万円
- (新) 全国農業担い手サミットいしかわ 31万円
- (新) 寺町サミットin七尾 350万円
- (新) 全国名水サミット 100万円
- (新) 日本ジュニアヨットクラブ競技大会 90万円



2015年春北陸新幹線金沢開業



能登和倉万葉の里マラソン

※マイス(MICE)とはMeeting(会議、研修)、Incentive tour(報奨・招待旅行)、ConventionまたはConference(大会、学会、国際会議)、Exhibition(展示会)の頭文字をとった造語で、ビジネストラベルの一形態をいう。

※(新)は新規、(拡)は拡充、(継)は継続を表します。